



日本最小の薪能
今年で第八十九回を数えます

「秘すれば花」
小さいがゆえに
気が満ちる

日本最小といわれる二木屋薪能。
キャストとスタッフで40人、
お客様60人。贅沢の極みです。
庭の松と篝火。天空の星と風の音。
ただ忽然と能舞台が現れて、
自然の中で行われる能・狂言。
幽玄の世界をご堪能くださいませ。



2019年秋二木屋薪能・半能「狸々」

2020年《秋恒例》二木屋薪能(タキギノウ)

◆曲目

大藏流吉次郎狂言会 金春流 座・SQUARE
狂言：「文山立」(フミヤマダチ) 半能：「阿漕」(アコギ)

シテ 大藏 吉次郎(重要無形文化財) シテ 高橋 忍(重要無形文化財)
シテ 大藏 吉次郎(重要無形文化財) シテ 山井 綱雄(重要無形文化財)
シテ 大藏 吉次郎(重要無形文化財) シテ 井上 貴覚

第87回 10月 2日(金)
第88回 3日(土)
第89回 11日(日)

◆開場 / 18時10分
◆開演 / 18時40分

薪能とご会席 2万8千円

(1ドリンク付き・税サ込)
・二木屋平会員様は4名様まで2千円引
・雨の場合は座敷能になります。



2018年秋二木屋薪能・半能「六浦」



2018年秋二木屋薪能・狂言「酔薑」

日本国登録有形文化財 会席料理 二木屋
さいたま市中央区大戸4-14-2
TEL048-825-4777 FAX048-831-2452
nikiya.co.jp

お申し込みは
お早めに

048-825-4777 二木屋まで

半能・阿漕 (アコギ)

あらすじ

九州日向国の旅の僧と従僧(または日向国の人)が、伊勢神宮参詣の旅に出ます。途中、阿漕が浦(今の三重県津市阿漕町あたりの海岸)に着きます。

旅僧一行(旅人)は、そこで一人の老いた漁師に出会います。

老人は旅僧たち(旅人)と阿漕が浦にまつわる古歌について語り合います。

旅僧(旅人)が、阿漕が浦の名前にどんな謂れがあるのかと尋ねると、老人は、昔、阿漕という漁師が禁漁区で魚を取り、見つかってこの裏の沖に沈められたことを伝えます。

そして、阿漕の霊は罪の深さにより、地獄で苦しんでいる、引い
をなされよ、と語り、自分がその亡霊であることをほのめかし、
急に吹いてきた疾風のなか、波間に消えていきました。

近隣の里人から改めて、阿漕の最期を聞いた旅僧たち(旅人)は、
法華経を読んで阿漕の跡を弔います。すると夜半に阿漕の霊が
現れ、密漁の様子を見せ、さらに地獄の責め苦にあう自らの惨状
を示します。

行き場のない苦しみを訴えながら、阿漕は「助けてくれ、旅人よ」
と言って、波の底へ入っていくのでした。

狂言・文山立 (フミヤマダチ)

あらすじ

2人の山賊が、ねらった旅人を逃がしてしまったことか、仲間
割れし、果し合いになるが、見物人のいないところで死ぬのは大
死にも同然、書置きをして死のうと争いを中止して、矢立を取り
出して遺書を書く。

1人が文言をいい、1人がそれを書き記していくうち、内容が妻
子の将来に及ぶと、2人とも感さわまって泣き出してしまふ。
そして互いに我慢すればすむことだと仲直りし、めでたく連れ
立って家路をたどる。

二木屋新能

日本最小といわれる二木屋新能。

キャストとスタッフで40人、お客様60人。贅沢の極みです。

庭の松と篝火。天空の星と風の音。

ただ忽然と能舞台が現れて、自然の中で行われる能・狂言。

幽玄の世界をご堪能くださいませ。

狂言 / 大藏流 / 吉次郎狂言会 —— 能 / 金春流 / 座・SQUARE



大藏 吉次郎
(重要無形文化財)



大藏 教義



高橋 忍
(重要無形文化財)



辻井 八郎
(重要無形文化財)



山井 綱雄
(重要無形文化財)



井上 貴覚

※二木屋新能が雨天の場合は、お座敷能を行います。完全予約制にて開催致します。満席や貸切の場合は御容赦下さい。

日本国登録有形文化財 会席料理 二木屋

さいたま市中央区大戸4-14-2

TEL048-825-4777 FAX048-831-2452

nikiya.co.jp

お申し込みは
お早めに

048-825-4777 二木屋まで